

ゲノム医療の社会実装

2018年12月6日(木) 受付開始 9:30 10:00~17:30

コングレスクエア日本橋

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-3-13 東京建物日本橋ビル 2階
<http://congres-square.jp/nihonbashi/access/>

主催 日本遺伝子診療学会 遺伝子診断・検査技術推進フォーラム企画推進委員会

参加費

学会会員：3000円 非会員：事前登録 5000円・当日 6000円
情報交換会：2000円

10:00 ~ 10:05 開会の挨拶

小杉 真司 日本遺伝子診療学会 理事長

10:05 ~ 11:30 第1部

希少疾患のゲノム医療の社会実装

座長 渡邊 淳 金沢大学附属病院 特任教授・遺伝診療部 部長
座長 堤 正好 株式会社エスアールエル マーケティング部 疾患領域グループ

- ① 難病等の希少疾患の遺伝学的検査の継続的実施体制の構築について
難波 栄二 鳥取大学 研究推進機構 研究戦略室 室長
- ② 次世代シーケンサー(NGS)による難病等の遺伝学的検査の提供体制について
小原 収 かずさDNA研究所 副所長 ゲノム事業推進部長
- ③ NGS時代の遺伝カウンセリングに求められること
西垣 昌和 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学専攻 基礎看護学講座 准教授
- ④ パネルディスカッション (第1部 講師)

11:30 ~ 13:00 ランチョン・セミナー

【日本ベクトン・ディッキンソン株式会社・株式会社キアゲン】

座長 登 勉 三重大学 名誉教授

低侵襲的な遺伝子解析技術の可能性

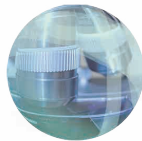
北野 敦史 株式会社キアゲン シニア アプリケーション サイエンティスト

13:00 ~ 14:00 第2部

医療法改正と検体検査の精度管理に関する最近の動向

座長 登 勉 三重大学 名誉教授

- ① 「検体検査の精度管理等に関する検討会とりまとめ」公表後の最近の動向
楠岡 英雄 独立行政法人国立病院機構 理事長
- ② NGSを用いる遺伝子関連検査の品質確保に関する取組み(臨床検査振興協議会 ゲノム検査に関する小委員会の活動等)
前川 真人 浜松医科大学医学部 臨床検査医学講座 教授



14:00 ~ 16:20 第3部

がんゲノム医療の社会実装

「がんゲノム医療の提供体制の整備とその運用」

座長 中谷 中 三重大学医学部附属病院中央検査部 教授・部長

座長 薮田 泰誠 理化学研究所 生命科学センター
ファーマコゲノミクス研究チーム チームリーダー

- ① がんゲノム医療の提供体制
西尾 和人 近畿大学 医学部 ゲノム生物学教室 教授
- ② がん遺伝子パネル検査の先進医療としての実施体制
角南 久仁子 国立がん研究センター中央病院 病理・臨床検査科 医員

15:00 ~ 15:20 コーヒーブレイク

- ③ 京都大学(がんゲノム医療中核拠点病院)における取組み
武藤 学 京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座 教授
- ④ 佐賀大学(がんゲノム医療連携病院)における取組み
荒金 尚子 佐賀大学医学部附属病院呼吸器内科 診療教授・同がんセンター長
- ⑤ 「ゲノム医療における情報伝達プロセスに関する提言」を取りまとめて
小杉 真司 京都大学大学院医学研究科 医療倫理学・遺伝医療学 教授

16:20 ~ 17:25 第4部

パネルディスカッション「多面的に見たがんゲノム医療の現在」

座長 田澤 義明 中外製薬株式会社 プロジェクト・ライフサイクリスマネジメントユニット
PHC推進部 非常勤顧問

座長 久保田 文 日経BP社 日経バイオテック 副編集長

- ① メディアから見たがんゲノム医療の実態
久保田 文 日経BP社 日経バイオテック 副編集長
- ② 患者から見たがんゲノム医療の実態

[ビデオメッセージ] 桜井 なおみ キャンサー・ソリューションズ株式会社 代表取締役

[パネル] 太宰 牧子 一般社団法人ゲノム医療当事者団体連合会
特定非営利活動法人クラヴィスアルクス 理事長

前川 真人 浜松医科大学医学部 臨床検査医学講座 教授

武藤 香織 東京大学 医科学研究所 ヒトゲノム解析センター 公共政策研究分野 教授

武藤 学 京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座 教授

17:25 ~ 17:30 閉会の挨拶

中谷 中 日本遺伝子診療学会 副理事長

17:30 ~ 18:50 情報交換会